

会 議 要 旨

会 議 名	令和 6 年度第 1 回子ども・子育て会議
日 時	令和 6 年 7 月 5 日（金）午後 1 時 3 0 分～3 時
場 所	東金市役所 第 1 委員会室
出 席 者	委員 1 5 名 広瀬委員、宮沢委員、前田委員、高橋委員、小川委員、渡邊委員、 土肥委員、今野委員、萩原委員、佐伯委員、永嶋委員、石川委員、 小嶋委員、小林委員、豊田委員
事 務 局	【市民福祉部】 緇市市民福祉部長 （こども課）石田課長、槌屋副課長兼入園係長、深澤副主幹兼運営係長 吉野こども係長、鍵田副主査 （子育て支援課）丸山副課長兼児童家庭係長 （健康増進課）矢崎課長、内山母子保健係長 【教育部】 （学校教育課）石原課長、石橋学事係長、北山学童クラブ係長
次 第	1. 開 会 2. 委員紹介 3. 役員選出 4. 報 告 （1）第 2 期東金市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(令和 5 年度) （2）第 3 期東金市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査結果報告 について （3）令和 6 年度開園の認定こども園の入園状況について 5. 議 題 （1）第 3 期東金市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール等について 6. そ の 他 4. 閉 会
1. 開 会	あいさつ（市民福祉部長）
2. 委員紹介	事務局より、新任委員 1 名を紹介。
3. 役員選出	前副会長が退任したため、東金市子ども・子育て会議条例に基づき、広瀬会長が後任を指名。宮沢委員が就任した。
4. 議 題 事務局	※事務局より 報告(1) 第 2 期東金市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（令和 5 年度）を説明。 資料「第 2 期東金市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（令和 5 年度）」

会 長	事務局より、説明があった件について、何かご質問、ご意見がありましたら、よろしく願いいたします。
委 員	コロナがあけて、社会生活が復帰したということで、コロナの影響が病後児保育ではあったということでしたが、ほかの事業もコロナの影響があったのでしょうか。
事務局	児童館等の地域子育て支援拠点事業が影響しています。また、一般型の一時預かり事業について、令和2年度は0件だったところから回復しています。
委 員	7ページの特別な支援が必要な子どもを受け入れる私立認定こども園に対して、職員の加配に必要な費用の一部を助成する事業がありますが、3、4人でも1人分しかでない、金額は同じと聞きました。違う県だと、3人以上だともう1人分付くというところもありますが、東金市はどのようなのでしょうか。
事務局	7ページの多様な事業者の参入促進・能力活用事業では、障害児保育事業の対象としない私立認定こども園に対する事業という、国の交付金の要綱に基づいて行うことを想定しており、障害手帳をお持ちであったり、特別児童扶養手当を受けていたりという一定の基準の、幼稚園的利用の子どもがいる場合に、1人当たり月額6万5千円程度の助成について書かせていただいています。
委 員	2人でも4人でも同じなののでしょうか。
事務局	7ページは、認定こども園の1号認定、いわゆる幼稚園的利用の子どもを対象とした事業です。保育所については、国の給付費で、障害児への補助をすることになっていますが、こちらについては、国の公定価格の条件設定の中で、障害をお持ちの子ども、もしくはそれに準じる子どもが何人いても同じ金額になります。その他、国の情報等を見ながら、よりよい形で保育ができるように検討しているので、そういった情報があれば教えていただければと思います。
委 員	資料の8ページの学童クラブですが、令和6年度の供給量が588ですが、今後の展開方針で、児童の減少が予測される学童クラブは人数に応じた効果的な運営を検討していくとありますが、現在、日吉台小学校で1名、東小学校で14名の学童の待機がある状況ですが、今後の展開方針の中の効果的な運営の具体的な説明をいただけますでしょうか。

事務局	今年度、東小学校と日吉台小学校の学童クラブで、待機児童が発生している状況です。東小学校では、かなり待機児童が多い状況となっていますので、待機児童の解消については、学童クラブの定員を増やす、部屋を増やすことがよいのではないかと思います。現状として、開設するための職員を確保することが必要となるので、職員の確保を進めながら、定員の増加を検討していきたいと考えています。 一方、減少している学童クラブとしては、丘山小学校の人数が減ってきているので、今後の児童の推移を見ながら、縮小の検討をしていきたいと考えています。
委 員	効果的な運営というのは、職員を確保して、特に東小学校は待機児童の解消を図っていくという前向きな意見としてとらえたのでお願いします。丘山小学校は減少であるが、学童をなくしてしまうことは賛成できません。どのような計画を立てていくのかを見ていきたいと思いますが、廃止しないようにお願いしたいです。 10ページの乳児家庭全戸訪問事業については、実績の訪問数は減少をしています。10ページのとおり、全ての対象者に訪問する体制は整っているとありますが、乳児がいるすべての家庭に訪問をしたのでしょうか。訪問時間、訪問日数についてどうなっているのか伺います。
事務局	全ての家庭に訪問できる体制の整備についてですが、出生された全部の家庭に保健師や専門職から電話をさせていただきまして、赤ちゃん訪問の日程を調整しています。ガイドラインがあり、生後4か月までに訪問することとなっています。その中で、長期の里帰りやお子さんが長期入院をされている場合には、この期間内の訪問はできていないので、対象外で数値を計上させていただいています。対象としている家庭に対する実施率は令和5年度については、全数、100%で訪問しています。日程の調整については、お電話を入れさせていただいた際に、家庭の都合と合わせて、保健師の都合を調整させていただき、日程を決めさせていただき、おおむね1～2か月の中で訪問している状況です。
委 員	訪問時間は1回どのくらいですか。
事務局	訪問時間は家庭、お子さん、保護者の状況によりですが、おおむね1時間程度で訪問させていただいております。
委 員	松戸市で、乳児家庭全戸訪問で、大体1時間半くらい訪問しているとHPで見ましたので、きめ細かく、お母さんの要望や相談があると思いますので、時間が取れるのであれば、もう少し長い時間、お母さん、家庭に寄り添った対応をしてほしいと思います。

事務局	報告(2)「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査結果報告書について」を説明。 資料「東金市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書」
委員	60ページの市の満足度のところですが、不満が多くなっていますが、具体的に何が不満なのか、具体的な結果を拾っていますか。
事務局	最後に自由記入欄があります。不満がある人ほど回答されているかと思っています。自由記入欄で多いのは、一時保育ができる場所が少ない、児童館の設備のこと、学童保育の開始時刻のこと、産後ケア事業の充実、公立保育所の土曜日の預かり時間を長くしてほしい、公立幼稚園の預かり保育の充実などの意見が特に多いと思っており、現在、回答内容を研究しています。
委員	22ページのところで、3歳以上では幼稚園が41.8%と高くなっているということです。これまで、市議会等で、幼稚園的な利用が少なくなっているということがあって、施設の老朽化ということもあり、幼稚園を廃止することがありましたが、幼稚園の利用が41.8%と高いので、どのように分析されるのか、今後について、今までの幼稚園利用の率と違ってきていると思いますが、どのように分析していますか。
事務局	この設問は、複数回答となっており、アンケート上は高めに出る傾向があると分析しています。実際のところ、1号認定は、令和4年度から令和5年度は50人減っており、令和5年度から令和6年度では100人減っています。市全体としては、幼稚園の利用の数は減少傾向にあると分析しております。今後の方針として、具体的にありませんが、本調査結果を加味しながら進めていく方向で考えています。
委員	アンケートの結果では、3歳以上が幼稚園を41.8%の人が希望していますが、全体の人数をみると減ってきているので、幼稚園の廃止もありうるというように考えていいのでしょうか。 47ページの給食についての関心で、私立保育施設のうち、給食施設が整備されていないところについては、外部搬入を検討しているということですが、現在、給食室が整備されていない施設はどこでしょうか。記述の中に、安全管理の関心が76.2%と最も高いので、各園に給食室、調理室を設置すべきだと思いますが、詳しく説明をお願いいたします。
事務局	給食の外部搬入の件についてですが、正気幼稚園を認定こども園にする際に、外部搬入ということで対応している状況です。今後の幼稚園の再編に関連した給食施設の整備については、具体的なことは申し上げられませんが、現状外部搬入ということで使わせていただいておりますので、それについて、皆さんがどのように考えている

	のかを知りたいために、質問を入れた次第です。 幼稚園の今後の考え方については、10月以降に入園募集を行っていきませんが、アンケート結果の状況を踏まえた中で、実際の入園の状況等を確認しながら、幼稚園のあり方を丁寧に分析していく必要があると考えています。
委 員	意見です。この調査で、子どもがいない若者の回答が少なかったということ、市が行っている事業の認知度が低かったこと。この2点について、自分が学校を預かる立場として、心配をしています。高等学校の中で、家庭科の授業でこのことを教えているのか、子育て支援の制度を学校で教えているのかどうか、たぶん中学校でも教えていないと思います。子育て支援の全般の施策でいうと、そのような単元も見ることがないので教えていないと思います。子育てをしている人ではなく、予備軍の方に対して、市ではこのような事業を利用できるということを、中学生、高校生に知ってもらわないといけない。国に働き掛けていかないといけないが、東金市独自でもできると思いますので、子育て支援ではこのようなことを行っているの、安心して子育てができるということの啓発を次回の事業の中に検討をいただきたいと思います。 アンケートの結果を受けて、事業を継続するのか、廃止にするのかという判断、継続していくにも、拡充をしていくのか、現状維持なのか、縮小していくのかの問題もあります。それぞれ、予算のこともあると思います。市で判断する部分もあるが、本会議でも助言ができる立場でもあるので、判断できる資料を示していただきたいと思います。
会 長	子育て施策について、私も若者に伝えないといけない立場であると反省しています。
事務局	報告(3)「令和6年度開園の認定こども園の入園状況について」を説明。 資料「令和6年度開園の認定こども園の入園状況について」
委 員	東金国際こども園は、国際がついていることから、外国籍の方がどのくらいいるのでしょうか。
事務局	はっきりした数値がないのですが、感覚的には各学年に数名はいると思います。
委 員	ほかの園と比べて多い傾向でしょうか。
事務局	もともと東金幼稚園にいた方が移行した方もいますので、ほかの園より多いかと思っています。

委 員	東金国際こども園についてですが、保育士や教諭の確保が大変だと思いますが、現在、国際こども園の保育士の人数、そのうち、正規職員、非正規職員の割合がわかればお願いします。
事務局	東金国際こども園の保育教諭の状況ということで、現在、正規職員が24名、非常勤職員が21名の、45名の人員で配置しています。正規職員については、園長、副園長、主任保育士がそれぞれ1名で、保育教諭が16名、その他事務職が1名、看護師が2名、栄養士が2名という状況です。非常勤職員は、保育教諭が16名、事務職1名、調理員が4名という形になっています。割合として、正規職員は53%となっています。
委 員	正規職員24名のうち保育教諭は何名ですか。確認ですが担任は正規の保育教諭と理解していいでしょうか。
事務局	保育教諭は正規職員16名です。主任保育教諭が1名いるので17名になります。クラスについては、基本的にはそれぞれ正規職員を配置しながら、一部を非常勤の保育教諭が補助する体制になっています。
5. 議 題 事務局	議題(1)「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール等について」を説明。 資料「第3期東金市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール等について」
委 員	計画の策定にあたっての趣旨ですが、アンケート結果を踏まえて、次期計画をどう策定していくかが大事ですが、趣旨を読むと、例えば東金市としての方向性はこうだということは趣旨に書かないのでしょうか。この計画は子ども、保護者にとって、特に子どもにとっては最善の利益を確保する計画でなければならないと思います。保育士の確保、量・質の確保も大切ですが、そういった文言が計画の策定にあたっての部分には見受けられないので、もう少し子どもの最善の利益のところを、東金市としてやっていくところを趣旨に記載しないのかと疑問に思ったので、伺います。
事務局	市としての考え方やどのように進めていくのかは、第2章・第3章で触れる構成になっていくと思っています。第1章は、東金市の計画がいろいろありますが、市の他計画とどのような関連性があるのかをフォーカスして記載させていただいている作りとなっています。 なお、保育士の確保については、これまでの計画には記載していません。しかし、それを行っていくということは、後ろには付随していることは認識していかなければいけないと考えてはいます。

委 員	千葉県の子育支援計画の策定の趣旨を見ると、県ではこのようにしてきた、県では今後このようにしていきますということが書かれていたので、東金市としてどうしていくかを明記する必要があるのではと思います。今後、皆さんの意見を聞きながら、検討していただければと思います。
委 員	課をまたぐ話になるかもしれませんが、ニーズ調査等は東金市に在住されている方が対象になっていて、他自治体から東金市に引っ越してくる方へのアプローチについてはいかがでしょうか。他自治体をメディアやインターネットで見えても、子育てに力をいれている、市長がポップな感じで、こんなことをやっているということを打ち出しています。この会議には子育てに関するプロの方が集まっていますので、東金市を子育ての場としての選択肢に入れてもらえるよう、次の計画策定で、外部露出を一緒にやっていくことができるのかどうかを検討いただけないかと思っています。
事務局	外部への発信が足りないというお考えかと思います。これについては市も努力をしていかなければなりません。まず発信をするとすると、HPになります。HPも去年、大幅にリニューアルして、子育ての方からアクセスできるような形にしました。外部から見ていただき、少しでも東金に来てもらいたいと考えています。 一方で、中にいる人をどう外に出さないかということも重要です。いろんな計画を立てていく中で、東金市の魅力づくりを出していかないと、東金市は住むにはいいところ、東金にいくとこういうものがある、ということを発信していくべきだと思っています。 過去の計画においては、子ども・子育て会議で出たいろいろな意見を付記したものもあります。皆様の意見を、計画とは別に落とし込んで残していくことで、足跡を残していけるのではと思っています。
委 員	東金市は大学がある街で、大学にはいろんなところから来ているので、その人たちが来た時に、ここで子育てしたいと受け取れるものがあるといいなと思いました。
委 員	東金市を子育てしたい街にしていくためには、子育て支援の目玉となるものがなければ難しい部分があると思います。転出をしない、若い人に住み続けてもらう、ほかから転入をしてもらえるような東金市にしていくためにも、この計画には目玉となる、東金市の子育て支援が充実しているという計画になるようにしていただければと思います。
会 長	事務局は、意見を参考にして、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定を進めてください。

6. そ の 他 事務局	第2回の子ども・子育て会議を9月ごろに行いますとお伝えしましたが、9月下旬から10月頭で開催を調整させていただきたいと考えています。会議の1か月前にはお知らせしますので、よろしくお願いいたします。
会 長	その他に包括的なご意見・ご質問等ありませんでしょうか。
委 員	メディカルセンターの産婦人科の診療開始が2016年だったと思います。8年が経ち、東金で生まれた人たちは、メディカルセンターで生まれている人も多いと思います。他の自治体では産婦人科がない自治体もあります。各自治体で、子どもを産める産婦人科がどのくらいあるか調べていただいて、東金が持っているセンターがどのくらい機能しているのかをアピールし、市内外にアピールできるものだと思いますので、ご検討いただければと思います。
会 長	《他に意見なし》 質問がなければこれで以上となります。
7. 閉 会	以上で本日の会議は終了とさせていただきます。 お疲れ様でございました。